



## COLUMN

---

表紙：

**上田工場**

**1971年**

1950年代、日本におけるステッピングモータの需要は非常に限定されていました。当社においても、当時は直流サーボモータと交流サーボモータを主力製品としていましたが、近い将来、ステッピングモータの需要が必ず生じると予測し、開発を進めていました。

こうした状況のなか、当時コンピュータの分野で世界をリードしていた米国IBM社から、ステッピングモータのサンプル注文がありました。当社の技術力の高さを認めてもらう絶好の機会です。総力を挙げてお客さまの期待を満足するステッピングモータを実現し、量産受注に結び付けました。

そして、上田工場では、若手エンジニアを中心として量産体制を作り上げ、社員一丸となってプロジェクトを成し遂げました。冷却用のファン「サンエース」に続き、もうひとつの主力製品「ステップシン」が誕生した瞬間です。これを機に、当社の業容は一段と飛躍しました。

ステッピングモータでは、細い電線を巻線として使います。手先の器用さが必要な仕事だったため、上田工場では、女性だけで構成される巻線職場も登場しました。こうして誕生したステッピングモータは、今でも当社の主力製品のひとつとして活躍しています。